

「地域の発展と共にある銀行」を目指して



日頃より荘内銀行をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

当行の第103期(平成17年3月期)決算の内容につきましてご報告いたします。

リテールの強化、フィージネスの強化、リスクマネジメントの強化に

努めてまいりました結果、当行の収益力・健全性は着実に向上しております。

当行は、これからも「地域の発展と共にある銀行」として、

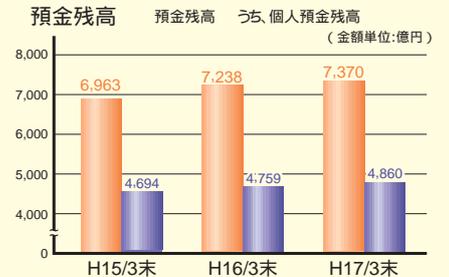
常に地域の皆さまの視点から考え、行動し、最善のサービスをお届けしてまいります。

引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 荘内銀行

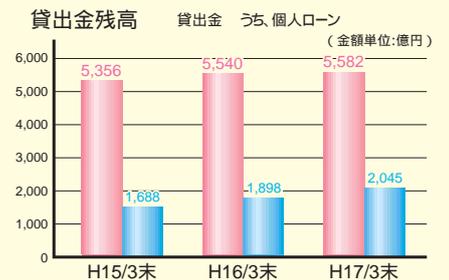
取締役頭取 町田 睿

平成17年3月期の業容・業績について

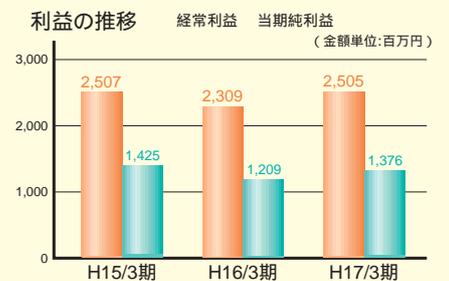


預金残高は、前年同期比131億円(1.8%)増加と順調に推移いたしました。

個人預金残高につきましても、前年同期比101億円(2.1%)増加と順調に推移しております。



貸出金残高は前年同期比41億円(0.7%)増加となりました。住宅ローンを中心に個人ローンが前年同期比146億円(7.7%)増加と引き続き高い伸びを示しております。



リテールとフィージネスの強化に努めた結果、経常利益は前年同期比1億95百万円(8.4%)増加の25億5百万円、当期純利益は前年同期比1億66百万円(13.7%)増加の13億76百万円と、いずれも増益となりました。

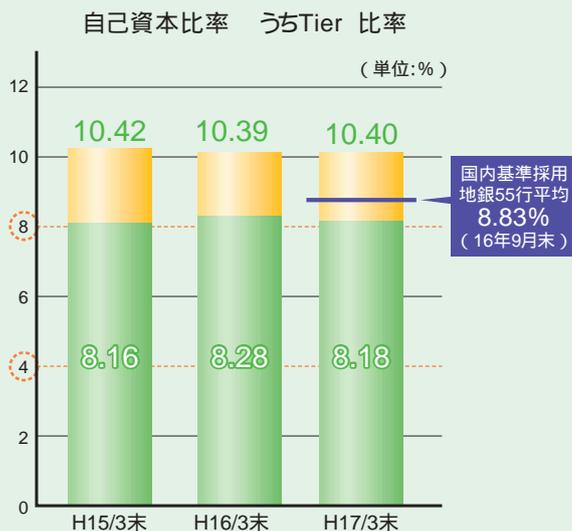
期末配当金
1株当たり2.50円 **3円**

平成17年3月期における期末配当金は、前期比50銭の増配となる1株当たり3円とさせていただきます。今後も、経営課題への対応を進めながら着実に利益をあげ、株主の皆さまへの安定的な利益配当を目指してまいります。

(計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。)

荘銀の健全性

自己資本比率(国内基準)

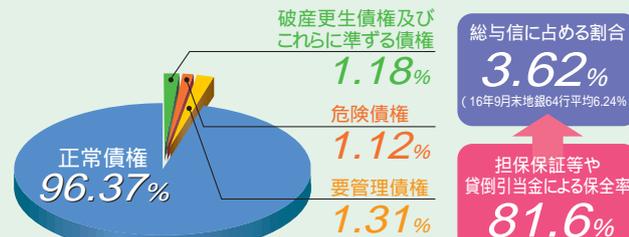


自己資本比率は、10.40%と、地銀平均を上回る良好な水準で推移しております。中核的な自己資本[Tier]の比率も8%を超えており、高い健全性を維持しております。

金融再生法に基づく開示債権(不良債権)



金融再生法に基づく開示債権(不良債権額)は、前年同期比15億64百万円減少、総と信に占める割合(不良債権比率)は、前年同期比0.30ポイント良化しました。



金融再生法(金融機能の再生のための緊急措置に関する法律)に基づく開示債権額は、貸出金のほかに支払承諾見返、与信関連仮払金、外国為替、未収利息、貸付有価証券を含んだ総と信ベースの債権を対象債権として算出します。

広くお客さまのご意見をお伺いいたしております。お気付きの点はお気軽にご連絡ください。

荘内銀行
SHONAI

お客さま相談室[受付時間]平日9:00~17:00

0120-019-874

ホームページ <http://www.shonai.co.jp/>